

(様式 1-3)

二本松市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 24 年 8 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

N0.	3	事業名	グラウンド照明効果促進事業	事業番号	◆A-2-1-1
交付団体	市		事業実施主体 (直接/間接)	二本松市 (直接)	
総交付対象事業費	24, 120 (千円)		全体事業費	24, 120 (千円)	
事業概要					
子どもの豊かな心や社会性を育み、子どもの健全な発達を支援する体制の充実を図り、健やかに、そしてたくましく育ち、また子どもを育てる親が安心して子育てをすることができ、子どもたちの学力・規範意識・体力の低下が懸念される中で、これからの人生を生き抜く上で必要となる確かな学力の習得や体力を向上させることのできる教育環境の整備促進を図るために、安達中学校の生徒がこれまで利用していた市営安達運動場が浪江町民の仮設住宅が設置されたことにより利用できない状況となってしまった。 また、市営安達運動場は、一般市民に開放し野球やソフトボール等のスポーツを通じて地域の絆を強め、地域コミュニティを維持する上で重要な役割を担うとともに、いつまでも健康で明るく活力に満ちた生活を送るための重要な拠点であった。 この運動場の重要な機能を市営安達運動場の代替施設として緊急に整備する必要がある。基幹事業で学校施設としての施設整備を行うが、市営安達運動場の機能（野球やソフトボールの一般競技に使用できる程度）を代替させるための夜間照明設備を整備する。 ○安達中学校グラウンドナイター照明効果促進事業 ・照明塔 4 基 (@5,800×3, @6,720×1) 24, 120 千円 ※二本松市復興計画 (P20) 施策の柱 1 安全・安心のまちづくり 施策 2 (4) 市民総スポーツ社会の実現 <u>取り組み事項 スポーツ施設の整備充実</u> <u>・グラウンド夜間照明設備整備事業</u> ※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください					
当面の事業概要					
<平成 24 年度> 夜間照明設備設置工事 ・照明塔 4 基 (@5,800×3, @6,720×1) 24, 120 千円					
東日本大震災の被害との関係					
東日本大震災と福島第 1 原子力発電所事故に起因する放射能漏洩により大量の放射性物質が飛散した二本松市においては、最も放射能の影響を受けやすい子供たちの被ばく量を可能な限り低減させるために市内の小中学校では園庭等の表土除去を行った。 また、浪江町の臨時役場を二本松市役所東和支所の一部を貸出して設置受け入れた。現在も市の運動施設や農村広場 11 箇所に浪江町住民用の仮設住宅 1,069 戸 2,009 人を受け入れている。特に安達地域では安達中生徒をはじめ地域住民が多く利用していた地域内唯一の夜間照明設備のあるグラウンドに仮設住宅が設置されてしまい、夜間利用のできるグラウンドがなくなってしまった。また、病気にかかりにくい健康づくりのために、地域や年齢・性別、障害の有無等に関わらず、だれもがスポーツに親しめるよう、スポーツ環境の充実強					

化に対する市民ニーズは非常に高まっている。また、スポーツを通じて地域の絆を強め、地域コミュニティをさらに発展させるとともに、いつまでも健康で明るく活力に満ちた生活を送ることができるスポーツ環境の整備は急務である。

※区域の被害状況も記載して下さい。

関連する災害復旧事業の概要

外部被ばく低減化対策事業として、市内すべての小中学校、幼稚園、保育所の校庭、園庭等の表土除去を行った。

油井小学校：クラック補修、暖房設備復旧等（施行済）

杉田小学校：クラック補修等（施行未済）

二本松第三中学校：クラック補修等（施行済）

安達中学校：クラック補修等（施行済）

二本松第二中学校：クラック補修等（施行済）

小浜中学校：クラック補修等（施行済）

東和中学校：クラック補修等（施行済）

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業

事業番号	A-2-1
事業名	グラウンド照明設備整備事業
交付団体	二本松市（直接）

基幹事業との関連性

地域や年齢・性別、障害の有無等に関わらず、だれもがスポーツに親しめるよう、スポーツ環境の充実強化に努め、スポーツを通じて地域の絆を強め、地域コミュニティをさらに発展させるとともに、いつまでも健康で明るく活力に満ちた生活を送ることができる市民総スポーツ社会の実現を図るために、市営安達運動場の重要な機能の代替施設として緊急に整備するために、グラウンド照明設備整備事業との関連性が高い。

(様式 1-3)

二本松市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 24 年 8 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

N0.	4	事業名	原瀬住民集会施設整備事業	事業番号	C-9-1
交付団体	市		事業実施主体 (直接/間接)	二本松市 (直接)	
総交付対象事業費	2, 500 (千円)		全体事業費	25, 000 (千円)	
事業概要					
地震による被害を受け使用できなくなった原瀬住民会館の代替施設として、付近の市有施設に集会施設機能を持たせるため、施設の増改築を行う。 原瀬地区は自然公園である磐梯朝日国立公園の隣接地に位置しており、この地域の豊富な森林資源を有効活用した地域材を含む国産材による木造の公共建築物を整備する。 【木質バイオマス施設等緊急整備事業】 ・ 原瀬住民集会施設整備工事 木造平屋建て 130 m² ※二本松市復興計画 (P 31) 施策の柱 3 人づくり・地域づくり 施策 2 (1) 市民との協働による地域づくり <u>取り組み事項 地域自治活動の推進</u> ※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください					
当面の事業概要					
<平成 24 年度> 集会施設設計業務 (一式) 2, 500 千円 <平成 25 年度> 集会施設整備工事 (木造平屋建て 130 m²) 21, 000 千円 施工管理業務 (一式) 1, 500 千円					
東日本大震災の被害との関係					
東日本大震災により市内の建築物・道路・電気・水道等に甚大な被害を受けた。原セ地区にあっては地域コミュニティ施設である住民会館が被災により使用できなくなり、早急に地域コミュニティの拠点整備を進める必要がある。 市内には多数の集会所があり被災した施設も多いが、その中でも市が所有し住民が管理する集会所 30 施設のうち原瀬住民会館については、地区内約 300 軒のうち半数以上が被災し、半壊以上となった住宅も 2 割と特に被害が大きく、地区住民による集会所建設は困難な状況である。 このため、原セ地区住民約 1, 300 人が安全に安心して暮らせる地域づくりを進める復興の拠点施設として市有施設を増改築することにより集会施設の整備を行う。 ※区域の被害状況も記載して下さい。					
関連する災害復旧事業の概要					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	